

都議会議員の働く環境は変化しているのか

2020年2月2日

## はじめに

近年、男女平等や女性の社会進出、及び働き方改革が叫ばれている中、議会ではきちんと働き方改革が進んでいるのだろうか。会派・年齢・性別によって働き方改革の進み具合が異なっているのではないか。また、働き方改革が進んでいることと東京都の問題の解消度合いに因果関係があるのではないか。本稿は「働き方改革 (Y) と会派・年齢・性別・東京都の抱える問題への意識 (X) に強い相関がある」という仮説を立て、それに対し、都議会議員に対して行なった調査データをもとに重回帰分析を行う。

## 先行研究

山本・宗像(2012)は業種を問わず、労働者のメンタルヘルスに関して分析考察している。この研究結果によると性別は労働者のメンタルヘルス、すなわち、働きやすい環境であるか否かを表す度合いに関して因果関係がないとなっている。

菊池(2008)は近年の女性医師の勤務状況を報告している。ここ数年の医師国家試験合格者に占める女性の割合が連続して 30% を超え、日本では女性医師が着実に増えてきている。しかし、精神科領域においては海外での調査報告は散見されるものの、日本においてははまだ報告がみられていない、そのため、現在の勤務状況と課題を明らかにすべく、卒後 12 年以内の男女若手精神科医師を対象にアンケート調査を行い、現状と今後の課題について検討をした。この研究によって男性は現状平均週 5.2 日労働しているのに対し、平均週 4.7 日を希望している一方、女性は現状平均週 4.8 日であるのに対し平均週 3.4 日を希望していることから女性は育児などの関係から勤務日数を減らす、もしくは勤務時間を短くしないと働きづらいと考えていることがわかった。反対に男性は 0.5 日しか変更を希望していないので、労働環境に不満を抱いていないのではないかと考えることができる。

陶山(2018)はニュージーランドの政治家と政党の懐事情に関する分析をしている。ニュージーランドの国会議員はその役職によって、収入が異なっている。また、党の規模によっても大政党の党首と小政党の党首とでは収入が異なる。与党の幹事となると法案が支障なく通過できるように取り計らう重要な役割をもたらす。党の大きさが仕事量に大きな影響を与えるので、抱えている議員数によって給与調整がされる。この研究は、ニュージーランドの政治家の懐事情に関する研究である。ニュージーランドの議員の収入は党の規模や、第 1 野党かそれ以外かによって異なる。また、与党の幹事となると法案が支障なく通過できるように取り計らう重要な役割をもたらす。党の大器差が仕事量に大きな影響を与えるので、抱えている議員数によって給与調整がされる。

上記で述べたとおり、山本は性別による働き改革の進み具合の差はないと述べ、菊池は性別による働き改革の進み具合の差はあると述べている。また、陶山はニュージーランドの事例ではあるが、与党と野党、どちらに属しているかによって給与や労働時間に差異があると述べている。以上の選考結果から、都議会において「働き方改革 (Y) と会派・年齢・性別・東京都の抱える問題への意識 (X) に強い相関がある」という仮説を立て、検証する。

## 仮説

はじめにも述べたが、働き方改革という言葉が世間にあふれている中、国の中枢たる議会では会派・年齢・性別によって働き方改革の進み具合が異なっているのではないか、働き方改革の進捗と東京都の問題の解消度合いに因果関係があるのではないかという疑問から「働き方改革 (Y) と会派・年齢・性別・東京都の抱える問題への意識 (X) に強い相関がある」という仮説を立てた。

### データ、変数、分析方法について

本項で用いるデータは、2019年10月16日から都議会議員124名を対象とし行なったアンケート結果である。このうち、有効回答数は49件であった。その中でも本稿は都議会議員自身のことや東京都に対する意識・現状抱えている問題についてどのように考えているのか理解を深め、年齢・性別・会派などによってそれらに差異があるのかを調べることを目的としている。

説明変数ならびに目的変数は以下の通りである。

X1 会派

X2 年齢

X3 性別 0：男 1：女

X4 東京都の待機児童問題が十分に解消しているか

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない

2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

X5 東京オリンピック・パラリンピック開催への準備は、包括的に見て順調に進んでいるかどうか

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない

2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

Y1 報酬

Y2 労働時間

Y3 女性の働きやすさ

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない

2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

### 結果

表1は報酬を目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析である。

表1 報酬を目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析

|                  | 偏回帰係数  | t 値    | p 値   | 判断 |
|------------------|--------|--------|-------|----|
| 切片               | 6.127  | 2.481  | 0.018 | 有意 |
| 公明党              | -1.986 | -1.472 | 0.150 |    |
| 自民党              | -2.609 | -2.362 | 0.024 | 有意 |
| 都民ファーストの会        | -5.535 | -4.163 | 0.000 | 有意 |
| 無（都議会生活者ネットワーク）  | 3.159  | 1.577  | 0.124 |    |
| 無（東京みらい）         | -2.697 | -1.691 | 0.100 |    |
| 立憲民主党            | -5.068 | -3.001 | 0.005 | 有意 |
| 年齢               | -0.031 | -1.009 | 0.320 |    |
| 性別               | 0.051  | 0.080  | 0.937 |    |
| 待機児童             | 0.568  | 1.208  | 0.236 |    |
| 東京オリパラ           | 0.033  | 0.076  | 0.940 |    |
| N: 42, R2: 0.499 |        |        |       |    |

表2は労働時間を目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析である。

表2 労働時間を目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析

|                   | 偏回帰係数  | t 値    | p 値   | 判断 |
|-------------------|--------|--------|-------|----|
| 切片                | 6.384  | 2.355  | 0.024 | 有意 |
| 公明党               | 0.343  | 0.253  | 0.802 |    |
| 自民党               | -1.998 | -1.659 | 0.106 |    |
| 都民ファーストの会         | -1.145 | -0.914 | 0.367 |    |
| 無（都議会生活者ネットワーク）   | -4.629 | -2.078 | 0.045 | 有意 |
| 無（東京みらい）          | -1.458 | -0.893 | 0.378 |    |
| 立憲民主党             | -1.610 | -0.908 | 0.370 |    |
| 年齢                | 0.014  | 0.436  | 0.666 |    |
| 性別                | -0.045 | -0.063 | 0.950 |    |
| 待機児童              | 0.792  | 1.514  | 0.139 |    |
| 東京オリパラ            | -0.405 | -1.033 | 0.309 |    |
| N: 42, R2: 0.1004 |        |        |       |    |

表3は女性の働きやすさを目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析である。

表3 女性の働きやすさを目的変数、会派・年齢・性別・待機児童・東京オリパラを説明変数とした重回帰分析

|                  | 偏回帰係数  | t 値    | p 値   | 判断 |
|------------------|--------|--------|-------|----|
| 切片               | -0.943 | -0.878 | 0.386 |    |
| 公明党              | -0.537 | -0.999 | 0.325 |    |
| 自民党              | -0.321 | -0.673 | 0.505 |    |
| 都民ファーストの会        | -0.608 | -1.225 | 0.229 |    |
| 無（都議会生活者ネットワーク）  | 2.087  | 2.363  | 0.024 | 有意 |
| 無（東京みらい）         | -0.517 | -0.799 | 0.430 |    |
| 立憲民主党            | 0.601  | 0.856  | 0.398 |    |
| 年齢               | 0.037  | 2.816  | 0.008 | 有意 |
| 性別               | 0.145  | 0.514  | 0.610 |    |
| 待機児童             | 0.252  | 1.216  | 0.232 |    |
| 東京オリパラ           | 0.148  | 0.951  | 0.348 |    |
| N: 42, R2: 0.216 |        |        |       |    |

表1の結果よりわかることは、報酬に関して、自民党と都民ファーストの会と立憲民主党は共産党との間に差が存在するということである。公明党や無所属の方々は共産党と差がないと考えられる。また、年齢・性別・待機児童・東京オリパラは有意水準を上回っているため、有意な説明変数ではない。

表2の結果より、労働時間に関して、都議会生活者ネットワークと共産党との間に差が存在すると言える。また、都議会生活者ネットワーク以外の党と共産党との間に差がないことがわかった。また、年齢・性別・待機児童・東京オリパラは有意水準を上回っているため、有意な説明変数ではない。しかしながら、この都議会生活者ネットワークは回答数が極端に少ないので、この分析が正しいとは言えない。

表3の結果は、女性の働きやすさに関して、都議会生活者ネットワークと共産党との間に差が存在することを示している。同時に、都議会生活者ネットワーク以外の党と共産党との差がないと示している。また、年齢はp値が有意水準を下回っているため、女性の働きやすさに対して、有意な説明変数であると言える。

## 結論と含意

以上の結果から、報酬に関して、与党である都民ファーストの会と野党である共産党の間には有意な差が存在すると言えるだろう。しかし、年齢や性別によって報酬に対する意識が異なっていることはない。また、労働時間においては、年齢・性別・会派のどれも有意な説明変数にはならなかった。年齢が高い人ほど女性が働きやすい職場であると思っていることがわかった。したがって、はじめに立てた「働き方改革(Y)と会派・年齢・性別・東京都の抱える問題への意識(X)に強い相関がある」という仮説は、棄却される。

しかしながら、報酬に関しては与党である都民ファーストの会に所属している議員の方が野党に所属している議員より報酬が少ないと感じていることから、少なくとも与党と野党の間で労働環境が異なっているだろう。与党と野党の間で仕事内容や業務量が異なっているということは想像に難くないのでこの結果は当然と言えるだろう。また、職場における女性の働きやすさにおいて、年齢層の高い人ほど働きやすいと考えていることから、以前よりは働きやすいと考えていると言えるのではないだろうか。

本稿は有効回答数が50件を下回っている。そのため、本研究は極めてデータ数が少ないと言えるだろう。したがって、いかなる手段を用いてもより多くのデータを集め、再度検証することを今後の課題とする。

## 参考文献

菊池沙耶・上原久美・橋本直樹・小泉弥生・吉岡知子・杉浦寛奈・松岡洋夫 2008 「女性精神科医師の現況について——卒後12年以内の精神科医師を対象にしたアンケート調査より——」 『精神経誌』110(7):563-570

陶山宣明 2018 「ニュージーランドの政治家と政党の懐事情」 『日本ニュージーランド学会誌』25:56-62

山本美奈子・宗像恒次 2012 「労働者のメンタルヘルスと行動特性の影響 — 共分散構造分析による因果モデルの検証 —」 『産業衛生学雑誌』54:10-21